京城日報 朝刊

勝ち拔け斷じて勝ち拔け

あす感激の開戰一周年

大東亞に新世紀の炬火

逞し征戰へ堂々の歩武

米英擊滅・歴史の日

世界の公敵米英擊滅の大詔を拜してこゝに一年、大東亞に新世紀確立の炬火をかゝげた歴史の日、十二月八日はいよ／＼明日に迫つた、偉なるかな 神國日本――鎧袖早くも眞珠灣の奥深く 鬼米太平洋艦隊を殲滅、返す刃でマレー沖に 暴英東洋艦隊を全滅、二旬を出でずして英國東洋基地香港を陷し、馨しき香高き一月二日アメリカ東洋基地マニラを降し、神速マレー半島を南下した山下兵團は紀元の佳節早くもシンガポールに大日章旗を揚げれば三月八日ビルマの首都ラングーンはわが神兵の足下にあつた、ジヤワ、スマトラ、セレベス、ボルネオの敵南方基地は曉天の星の如く消え去り、こゝに敵が戰前誇號してやまなかつたABCD陣營は開戰半歳を出でずして 完全に拭掃された のであつた、偉 なるかな神の國日本、アリユーシヤン、ミツドウエー、ソロモンの米太平洋各基地はもとより、印度洋に大西洋に菊花御紋章を戴くくろがねの浮城は全大洋を壓し、時に遠く米本土を奇襲して敵人心を寒からしめるなど夷狄の利劍は敵のある所必ず飛んでこれを降した、この間新嘉坡昭南の誕生をはじめ香港、マニラ、ジヤワの各地は早くも昭和たる御稜威の下アジヤの新土として再建され 大東亞共榮圏確立の鴻業は日に月に進み、國生みのそのかみ下し賜へる八紘爲宇の大業はその半を達したといふべきである、偉なるかな神の國日本、その力。その魂――かくて再びその歴史の日は巡り來つたのだ、内に藏した逞しき戰力ます／＼旺んに、銃後一億の戰意ます／＼固く『二年目も勝ち拔かん』の合言葉も頼もしく猛く明るく堂々の歩武が進められるのだ

勝利へ驀進 坪上駐泰大使談

【バンコツク六日同盟】坪上駐泰大使は大東亞戰爭勃發一周年記念日を迎へるに當り左の要旨の談話を發表した

泰國における外交々渉の苦心は戰爭にあらずして平和交渉をなさねばならぬところにありわれらの苦心は如何にして泰國を戰場と化することから免かれしめるか、如何にして泰國民を戰火から救ふかといふ點に存したのである、日泰外交はあくまで平和交渉に終始したことはもちろんであつた、またたとひ日泰兩國が友好精神を同じくし東亞諸國に對する泰國指導者たちの信念については疑ふ餘地がなかつたにしてもことがあまりに重大であつたが故に、その成否について最後の瞬間まで一抹の不安が殘されたのである、けれども天佑は泰國における外交にも幸して日泰結盟は成立した、日本國民の鬪志は開戰一年間の死闘によつて士氣まさに沖天の概があるとともに擧國一致の戰爭體制はなつたのである、東亞においては日泰同盟あり歐洲においては獨伊を中心とする樞軸あり、わが同盟國はます／＼結束を強固にして勝利の大道を驀進せんとするものである

耳を聾する爆音

必勝確信いひしれぬ緊張感

ハワイ空襲を語る 喜多總領事

【青島五日同盟】大東亞省副領事と共に青島總領事として着任した喜多長雄氏は大東亞戰爭の第一戰を見舞はつた眞珠灣攻擊の際布哇國際機關で歸朝した人である、大東亞戰爭一周年を前に同總領事はわが歴史のハワイ空襲の狀況を興奮に滿ちた面持で回想しつゝつぎのやうに語つた【寫眞＝喜多總領事】

わが航空隊來襲

十二月八日の明け方大きな爆音がつゞけざまに私の耳朶を打ち飛行機のプロペラの唸りが聞えた、はじめのうちは二ケ月前ごろから頻繁行ふ米空軍の猛演習と思つてゐた、これこそ特殊潜航艇の勇士の先陣であり、帝國航空部隊のハワイ猛爆擊だつたのだ、高角砲、高射砲の轟音、炸裂、飛行機の爆音のつゞくうちに夜もしら／＼と明けて來た『演習にしてはあまりに大げさだ、これは確かに日本の航空隊が來襲した』と確信を得、一種いひやうのない緊張感がひし／＼と私を引きしめてゆく

抑留生活半ケ年

同日正午ごろ私は米國官憲の手で總領事館の一室に監禁され、その後約半ケ月の抑留生活がはじまつたが外界との一切の交渉は杜絶され便所へ行くにも監視附きで新聞雜誌その他は全然手にとることは出來ず、毎日新聞に目を通すことを一つの要件としてゐる私たち外交官として字を讀むことが出來ないといふ憂鬱をつく／＼味はつたわけだ、抑留後當局のサイド・アイランドに收容されたが眞に取扱ひをうけた、この事は未だ公には出來ない事情にあるが、萬一故國に足を踏入れることが出來たら私は上陸早々當局の人を攫まへして私自ら敵國收容所に赴いて私に與へられた取扱ひと同様に仕返へしをしてやらうと思つた程だアメリカは世界の大國だと大言壯語するがその卑劣さは正に劣等國であるとしみ／＼感じ日本人に生れた感激がひし／＼と迫り却つて在帝國敵國人に對することばつた感情はいつの間にか消えてゐた

單調な石器生活

二ケ月後私たちはアリゾナ州の沙漠の中に移されテント生活がはじまつた、沙漠生活といふより石器生活といつた方がいい、毎日する事もなく監視されてゐる單調な生活だつた、色々な石が轉がつてゐる、鑛石に對する知識も趣味もない私たちがいつかしら石の名前を覺えてしまつた、一本の小刀をも持つことを許されない私たちは石を石で砥ぎ刃物を作ることに成功したこれから何年後に故國の土を踏むことが出來ようか、否出來ないかも知れないと覺悟してゐる私たちは原始的な毎日の明け暮れ、何萬年前の原始人の生活の如何に辛苦に滿ちたものであつたかをつく／＼と思ひ浮べるときもあつた、石の刃物をもつて木を削り細工物をして無聊を慰めこゝで一生を細工をしながら終るかも知れないなど感慨に耽るときもあつた、しかし如何なる事があつても、私の腦に去來するものは日本人として帝國外交官として敵國人のもの笑ひとならぬやうに起居することであつた『いざとなれば立派に死ぬ』館員一同もその覺悟で沙漠の生活のなかにも日本人としての血潮が私の體内を駈けめぐつてゐた

銃劍附きの監視

二ケ月餘りののちニユーヨークに行くことになり列車に乘らされたが何んとこの列車中には機關銃が据ゑられ監視人は銃劍をつきつけて私たちの身邊に控へるといふ有様だ、持物全部を沒收し囚人よりもあさましい生活を強要し護送一つないわれ／＼に對する米國民の愚かさに對し腹が立つとともに笑ひたくなる位だつた、ニユーヨークについても二週間餘りホテルの一室に監禁されてゐた、依然として一分の自由も許されない

貧弱な米交換船

われ／＼は交換船に載せられ交換地ロレンソ・マルケスに向つたがその交換船たるや船體は錆朽に黴られてはあるが實に粗末な交換船であつた、ロレンソ・マルケスについたときわが交換船淺間丸はその巨體を岸壁にどつかりと横づけにしてゐた、日本の交換船と米國の交換船とは好個の對照だつた、日本側の交換船で送られて來た敵國人は日本側の船内における待遇に感謝するとともにこれから乘る船、すなはちわれ／＼が乘つて來た交換船を見て日本側の交換船淺間丸から離れるのを惜しむが如くいひやうのない姿をしてゐた

敵國人への態度

敵國交換船の醜態はいつの間にか取り片付けられて船員たちの恰好のつかない顔を見て『日本人は世界の一等國人だ、敵國人途致の態度の堂々たることを見よ』と大見得を切りたくなつた、かくて無事本省に歸り米國滯在中の職務整理やその他に追はれて數ケ月を過して支那大陸に赴任して來たが私はいつも『日本は世界の一等國だ、大東亞戰爭は必ず日本の勝利に歸す』との確信を持つてゐる

蔣共自滅の一途

北支軍中西部隊長語る

【北京特電】輝く大東亞戰爭一周年記念日を前に六日午後二時から北支軍中西部隊長は記者團と會見大東亞戰爭勃發以來一年間の北支軍主要作戰及び政治、經濟、文化諸般に亘る顯著なる華北の現況につき大要次の如く語つた

この一年間、軍は作戰と建設の具體的成果によつて大東亞建設に貢獻し來つた、作戰と建設の特異性を述べればその一は數年の經驗に鑑み戰法は新たな創意工夫を加へ敵の應接を許さず壓伏殲滅した、その二は作戰と併行して政經文化諸施策が飛躍發展擴充強化した事實、その三は蔣政權の背後にあつて暗躍した米英の策動を剔抉支援、東亞解放理念を中國官民が理解し、大東亞戰爭完遂の決意昂揚と日華協力體制は劃期的に進展した、その四は蔣共兩軍は物心兩面に亘つて戰力低下し歸順投降捕虜の數が激增した

これで一年間の綜合戰果よりみれば交戰回數一萬五千五百五回、交戰敵兵力二百四十二萬二千九百五十三、遺棄死體十四萬五千五百九十六、捕虜十萬一千九百十六、鹵獲品山砲十二、迫擊砲六百廿七、重機百九十四、輕機千五百六、小銃八萬七千八百卅、自動小銃千七百八十一、拳銃一萬六千三百六十五、手榴彈四十三萬八千九百五十一この戰果の示す通り華北地區に蟠居する蔣共兩軍は軍の殲滅討伐により自滅の一途を辿つてゐる狀態である、蔣軍はわが殲滅討伐におびえつゝ聯合國の攻勢に便乘、その後の總反攻は實現性なく依然攻勢戰に終始し、敗戰を糊塗してゐる、共產軍は冀中、冀東地區を失陷し交戰力は減少、辛うじて蟄居狀態により陣地を保つてゐる

この蔣共關係は古來險惡なる空氣を内藏しつゝも抗日により結びつき相互依存で妥協し步みよつてゐるも、中央の動向如何に拘らず自存上各地で血の相剋戰を續けてをる、聯合國の相次ぐ敗戰に重慶の重壓は日に抗戰態勢の急速なる確立を目指し新援蔣路開拓の堅鵠から今春來西北開發に躍起となつてゐる中共との關係、回教徒との問題など複雜微妙な問題が多くその企圖する中央化は幾多の紆餘曲折が豫想される

戰力著退に伴ふ歸順件數の增加は當然であるが、本年度蔣系正規軍の歸順部隊だけでも約八萬、これに關しては適切なる措置が講ぜられてゐる、治安權の擴大に伴つて縣政の回復も顯著なるものがあり、三百七十一縣の中三百四十六縣の回復を見せてゐる、その他華北政務委員會の整備強化、新民會運動の展開、新國民運動の發展、華北打つて一丸となつた青少年隊の結成、或は治安強化運動に伴ふ鐵道通信線の被害件數は著しく減少してゐる點から見ても明かである

經濟諸施策としては食糧緊急增產、物價對策、重要物資の增產增送等が擧げられる、米英權益の接收と、その運營は極めて順調に進捗してゐるといつてよいとも角この一年間を通じて華北は日華軍官民一體となつて對日寄與大東亞戰爭遂行に全力擧げて戰ひ、文字通り兵站基地としての使命を遂行した、米英追放の後に本當の新中國が建設されてゐる、それが華北だ

歸順匪七萬 山東蘇北の戰果

【濟南五日同盟】大東亞戰爭勃發以來山東、蘇北、皖北、豫北の廣大なる地域に蔣共兩軍殲滅の鉾を進めた○○部隊の輝く一年の綜合戰果はつぎの如くであるが、今次大戰勃發以來敵陣營より和平陣營に投じたるものは、去る四月魯西地區に隱然たる勢力を有してゐた第三十九集團軍副總司令兼新編第五軍長(冀察戰區第一遊擊總指揮)孫良誠將軍が主兵二師二萬五千を率ゐる徹然投降したのをはじめ、十月山西地帶にあつた蔣系暫編第一師第二旅茅鐵多數部隊の和平陣營參加など相當多數にのぼつてゐる、綜合戰果左の通り

交戰回數四、六九二(うち共產軍一、五一二)敵總兵力約九十五萬(うち共產軍四十九萬六千)歸順七一、三八五、(一〇六縣)遺棄屍體三七、六三三(うち共產軍二、二五九)捕虜二〇、四九三(うち共產軍九、三〇五)鹵獲品小銃三五、八〇九、重輕機四三九、迫擊砲一六八その他武器彈藥多數

蓄貯勝必に新を激感
山一の投資信託
有利な時期に設定され、値上りの妙味も樂める
第三次申込 十二月十二日まで (說明書贈呈)
京城府黃金町 山一證券京城支店

賀陽宮邦壽王殿下

けふ御成年式御擧行

【東京電話】賀陽宮恒憲王殿下の第一男子におはす賀陽宮邦壽王殿下には本年四月御目出度く御成年に達せられたが、御成年式は御戰時中のため御延期中のところ七日宮中において嚴かに擧げさせられる、これに先立ち六日麹町區三番町の御殿にては賜冠の儀をいと嚴かに行はせられたこの日午前十時勅使德大寺侍從が御殿に伺候、邦壽王殿下には松浦別當、石川御附武官を隨へさせられて、謁見ノ間において勅使德大寺侍從を迎へさせられ勅使は冠を賜はる旨の聖旨を傳達申上げ、殿下には冠を御受納遊ばされて御滯りなく御儀を終へさせられた、七日朝殿下には午前十時宮中賢所大前において嚴かなる御成年式を擧げさせられ、さらに皇靈殿、神殿に謁するの儀を行はせられ午前十一時半宮中大奥にて 天皇、皇后陛下に御對面、謁見式を行はせらる、御慶びの邦壽王殿下には昭和十一年三月學習院中等科第一學年御修了、同十三年東京陸軍幼年學校御卒業、同十四年十一月陸軍豫科士官學校、同十六年七月陸軍士官學校を御卒業遊ばされ見習士官として東部第八部隊に御入隊、同年十月一日をもつて陸軍少尉に御任官、同日附をもつて勳一等旭日桐花大綬章を拜受あらせられたが、畏き御身をもつて未來の皇軍幹部としての資質を磨かせ給ふ軍務御精勵の御日常は承るも畏き極みである

久松侍從歸京

【東京電話】宮內省發表＝今般南洋における銃後國民の努力の狀態を視察せしむるため侍從久松定孝を差遣はさる、同侍從はさる廿日東京發サイパン、パラオ、ヤツプ、コール、テニアン、ロタ、大宮などの各島を視察、本月六日歸京せり

畏くも 天皇陛下には大東亞戰爭下銃後民草の敢鬪ぶりを嘉しく視察せしめられる思召をもつて內外地各地に侍從を御差遣あらせられたが南洋廳管下の民情視察の畏き聖旨を奉體して去月東京を出發、現地に赴つた久松定孝侍從はパラオ、ヤツプ、大宮の諸島をはじめ赤道直下の南洋諸地域に御使する銃後民草の實情を具さに視察、滯りなく日程を終へて六日東京に歸着直ちに宮中に參內 天皇陛下に拜謁、詳細復命申上げた、遠く南洋第一線の民草の上にも長き大御心を垂れさせ給ふ趣を承るは洵に恐懼の極みである

チツタゴン爆擊

【リスボン六日同盟】ニユーデリー來電＝在印聯合軍司令部は六日共同公報をもつて左の通り發表した

戰爆連合の日本航空部隊は五日午後チツタゴン地區(印度東部)に來襲爆擊を行つた

岡本公使、信任狀捧呈

【ストツクホルム五日同盟】新任スエーデン駐箚公使岡本季正氏は四日午後零時三十分スエーデン國王グスタフ五世に謁見信任狀を捧呈した

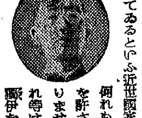
比島再建奉仕團結成

【マニラ六日同盟】比島軍政監部では新比島建設の中核團體たる比島再建奉仕團結成に對し六日左の如き當局談を發表した

比島軍政監部當局談(六日午後一時發表) 今般比島各政黨の正式解消に引續き全比島人をもつて一丸とする思想團體比島再建奉仕團の結成が比島側の自らの意思において自發的に行はれたことは眞に喜ばしいことである、東亞共榮圏の一環として實力あり、かつ明朗なる新比島建設は本團體の成果如何によるものであつて軍としては重大なる關心をもつてこれを注視するとともに援助を惜まぬものである

聖戰完遂と半島

本社主催座談會 (八)



多田 これについて說明しませう、近世紀の意味のフランスとかいふ國家、ドイツとかいふ國家、ベルギー、オランダ、ハンガリー、ルーマニヤ、ブルガリヤ等といふ國家—かくの如き國家は既に近世紀の前では存在してをりません、現にそれ自身が各々それ自體の主權を持ち、各自絕對なる獨立性を保持してゐるといふ近世國家として何れもが存在を許されてをりません、これ等は何れも獨伊を指導者として軍事的にも政治、經濟、文化的にも一體に結ばれつゝあり、謂はゞ新しい意味の一つの國家を形成しつゝあるのでありまして、ナチス獨逸のレーベンスラウムの主張『廣域國家の提唱とその成就』はこれを如實に物語つてゐるのであります、即ち現實において歐洲にはすでに近世國家が亡び、それに代つて人類史上第四階梯の新國家が生育し、それが世界的規模への發展を欲してゐるといふべきであります、この新國家の近世紀一國家に對する特質は恰も地方分權的なる中世封建國家の古代國家に對すると同様でありまして、フランス、ベルギー、オランダ等々は或る程度の獨立自主性を保持しながらも—換言すれば獨立國境界線は殘しながらも、大局的に觀れば一つに結ばれて一國の體制を形成し、それが新しい意味の國家即ち『歐洲國家』として目醒しい生育を遂げつゝあるのであります

世界歴史の歩み

何が故に斯くの如き飛躍的發展を遂げたか、それは一口にいへば最近數年間において地球が急激に縮小せしめられた爲と考へられます、地球の距離的縮小とは何ぞや、御承知の如く文化の進展、就中飛行機、ラジオ等の進歩は數年の間において人類史上に驚異すべきものがあります、恐らくは地球の一周も僅かに百時間以内で可能でありませう、これを斯くの如く地球が小さくなつた狀態においての今までの國家はその獨立性を保つべく餘りにもその領域が狹小であり、經濟に就いて考察するも、又政治から考へても、文化流通の相互作用から見ても、近世國家は既にそれ自體では獨立を保ち得ずして更に廣域なる領域において始めて獨立性を保ち得ると斷ずべきであります、この事を端的に申しますれば歐洲には既に新しい意味の國家が生育し獨伊を指導者とする新たなる歐州國家が我々の眼前において生みの惱みを續けてゐるといふべきであります、これが現實の事實であり、世人が欲すると欲せざるとに拘らず、又贊成すると否とを問はず否定すべからざる斷乎たる世界歴史の歩みであるのでありますが、東亞然り、米州亦然り、世界の隅々まで歴史の必然として斯くの如き傾向を辿らなければならないと考へられるのであります、而して斯くの如く政治上、經濟上、思想上の世界的大維新大變動なるものは、歴史を回顧すれば必ず戰爭を通じてのみ敢行せらるゝものといひ得るのであります

現實を語る神話

私はこのことをさらに日本民族の神話の出現が果して何を意味し何を結果するかが問はれると存じます、ともあれ、歴史の必然は我々の眼前に世界維新の展開を不可避ならしめ、既に近世紀は亡びて人類史の第四階梯へと突入しつゝあり、眞の意味の世界史が生育しつゝあると謂ひ得るのであります

日本的世界の展開

現代に再現された神話

ます、中世より近世への歴史について見ても分るやうに、新しい本質と様相とを持つ時代は、新しい本質様相を持つ戰爭によつてのみ生み出されることが通解せらるゝであります、換言すれば世界の維新は維新せられたる戰爭によつてのみ成就し、世紀の變革は變革せられたる戰爭を通じてのみ可能であることを識るべきでありませう、こゝに所謂デル・トターレ・クリーヒの主張—最近における總力戰立場から哲學を進めたいと思ひます、まづ緒論としての神話が、この昭和の大御世において現實の姿として世界に展開せられつゝあるといふことを申し上げませう、何故かく斷言し得るかについて以下少しく說明致します、日本民族の神話において立派に顯示されてゐる、古事記の冒頭には國產みの神語が掲げられてをります、即ち

『是ニ天ツ神モロ／＼ノ命モチテ伊邪那岐命、伊邪那美命二柱ノ神ニコノタダヨヘル國ヲ修理固成セトノリゴチテ天之沼矛ヲ賜ヒテ言依サセ給ヒキ』とあります、伊邪那岐、伊邪那美二柱の神様に天之沼矛をお授けになつてこの混沌たる蹣跚の世の中を秩序あり繁榮に築ふる本來の姿に矯め改め(修理し)それを永遠のものたる確く固め成せとの意味と解釋いたします、しかしてこの天之沼矛といふものが色々に理解されてゐるのでありますがそれは『矛』即ち鋒をもつて作つたで、慈しみを本質とする武力、天皇の慈愛至らざるなき大御心、即ち御稜威の至深至大なる御慈しみを體しその御稜威を具現せんがためにのみ揮はるる武力、即ち皇軍の發動する皇御戰、これこそが昭和の時代における天之沼矛の顯現であらねばならぬと思ひます、古事記においては、この天之沼矛によつて漂へる青海原をこをろ／＼とかき鳴して、その矛の先より垂れ落つる雫が積つて島となりておのころ島が生れた、即ち今の四國、九州を初め幾多の國々が產みなされたと述べられてあります、しかも我々の斷じて見逃してはならぬことはこの昭和の大御代において即ち世界の大維新人類史初めての眞の世界の生育せんとするこの大御代において二度目の國產みが現實において進行しつゝあるといふことであります、我が神話は單なる神話に非ずして現實を物語るものであり、この世にそのまゝに生ずる眞實であるのであります即ち天之沼矛たる皇軍はまづ滿洲の野に差し降された、その土地は張作霖、張學良といふ腐敗されて上下左右に各々の闘爭が展開され、所謂混沌たる狀態にありましたがその混沌たる土地に皇軍即ち天之沼矛は差し降されたのでありました、その皇軍は東奔西走『こをろ／＼とかき鳴して』その混沌混亂を鎭定し、しかしてその武力發動のやんだ時、即ち矛を引きあげ給ふ時その矛の先その筆鋒の結果產みなされたものがこれ即ち滿洲國であります、こゝに昭和第一の國產みがあり、神話の現代的展開があります、ついで支那事變であります事變前支那四億の民衆は、これまた蔣介石の秕政の下に或は米英が使嗾した結果として、こゝに混沌たる社會を作つてゐたのであります、こゝに天之沼矛は差し降されてこをろ／＼とかきならされ、皇軍武力の發動を見、その結果新生支那、新生中國が生れ出たのであります

國產みの聖業

昭和の天之沼矛はさらに今大東亞の大いなる地域に差し降されて新たなる國產みの聖業に携つてゐるといふことがいはれるのであります この現代の時代に神話が再現されたといふことは、これはさらに日本民族の文化發展といふことから考へて見ますれば、洵に意義の大きなものがあると思ふのであります、即ち日本は印度佛教或は支那文化を千數百年の永きに亘つて攝取し、これを自己のものとして來ました、佛教、儒教のもつ根本的眞髓はこれを是正しそれらの上に咲く花や枝葉で價値あるものはこれ悉くこれを自己の體內にをさめて、自己の生命によつて之を純化し何れも日本文化の範疇內に包攝し醇化したのであります、こゝに東洋文化の悉くを剩すところなく攝取し醇化した偉大なる日本文化が築き上げられたのであります、明治維新以後の時代におきましては世界西洋文化をとり入れまして、これを自己の文化生命の中に包攝したといふことは皆さま御承知の通りであります、近世西洋文化と申しますればその中にはアッシリヤの文化もギリシャの文化も亦ローマ文化も其の他西洋における凡ゆる文化を融合して發展したものであります、以上の意味からいたしますれば日本はすでに昭和の現代に至るまでに世界のあらゆる文化を包攝し終つたのであります、こゝに新しい意味の世界文化が日本において成育してゐるといふことが肯定出來ると思ふのであります

何處にかこれを成し遂げ得てゐる國がありませうか、日本は悠遠なる皇國の古から昭和の現代に至るまで世界維新のための準備を滯りなく行つて來た、日本的世界の展開のために何んらの不足もなく、なんらの怠りもなく發展して來たことを確認し得るのであります、實に不可思議の極みであります、よくもこの世界轉換の機に臨ずる如く、しかも何等の不足もなく日本的世界展開に準備が完了したとであります、これ全く神意の然らしむるところと斷ぜざるを得ません、以上縷々述べいたしました如く、大東亞戰爭を一環とする世界維新の大戰爭なるものは、日本を中心として世界の眞姿を顯現せしむるもの、東亞の各民族各々がその所を得て永遠に發展し得る態勢を創るといふ、有史以來初めての聖業であり、かんながらの大御業である、大東亞戰爭の眞意義はそれを含む更に大なる世界維新の大戰爭の本質を究めその本格的なる第一段階であることを理解して始めて正しく把握出來ると確信するものであります、重ねて稍々詳しく申上げたいと思ひますのは、かくの如き世界大維新を敢行するためには戰爭も亦大維新されなければならぬといふことであります、維新された戰爭によつてのみ維新された時代が造られることはさきほども一寸觸れた通りでありまして近世型の戰爭をもつて新しい世紀を造るといふことは不可能のことであります、かくの如き見解から私は新しい戰爭とは如何なるものであるかといふことについて重要な一、二を申上げたいと思ひます

出席者(順序不同)
松本一郎海軍大佐(京城海軍武官府) 多田督知陸軍中佐(朝鮮軍參謀) 兵頭儁氏(本府企畫室長) 尾高朝雄氏(城大教授) 橫瀨守雄氏(朝鮮東亞貿易社長) 大家虎之助氏(總聯鍊成部長)
【本社側】高木編輯局長、齋藤編輯局總務、嶺社會部長、村岡政治部長、高田政經部次長(昭)十一月十六日

ミラチ地の手袋

紳士用 ¥2.79以上
婦人用 ¥2.79以上
各種・各色・豊富取揃
丸善 京城本町二 電(2)6141

生活科學新書
B6判上裝 各冊 定價一・四〇 送料・一五
◎1 病氣をめぐつて 緒方富雄著
◎2 米と食糧 永井威三郎著
△3 わが家の電氣 關重廣著
4 暦の四季 栗原嘉名芽著
5 人間と自然科學 美濃口時次郎著
6 生活の物理 林髞著
△7 級方と細菌 三井田鐘石著
△8 生物の進化 押田周著
△9 人間學の知識 石川準著
△10 生活科學への進化 菅井安著
◎11 被服と生活 小藤俊著
○12 化學と育兒 白井文著
13 父親と家庭生活 齋藤幸二著
14 建築と人生物學 木村俊衛著
15 わが家の科學 佐藤忠著
16 天文とは何か 村上隼著
17 洗濯の科學 菱山衞著
18 生命とは何か 藤田著
19 學び方の科學 相良守著
20 時間と暦 荒木俊著
21 家具の四季 木檜恕喜著
22 光の科學 福本喜著
23 結核の科學 正木不如丘著
◎印文部省推薦 △印日本出版文化協會推薦
振替 東京 八七 六二六 羽田書店 東京市京橋區 東京一丁目七

月刊雜誌 支那語 十二月號
主幹 東京外國語學校教授 宮越健太郎先生
△初等讀本對譯 △初級日文支譯ノート △白話短文選 △年底的信 △中等作文講議 △實用會話 △關東州地方を中心とする廣人的話 △初等時文の解き方 △日用書翰文 △廣告と新聞記事 △小說・儒林外史講註
定價三十五錢 送料一錢
辭典 華語學生辭典 東京外國語學校講師 岩井武男編著 定價一圓八十錢 送料十錢
新時文辭典 東京外國語學校教授 杉武夫編 定價二圓 送料八錢
典 綜合支那語發音字典 國士教授 藤木・麻蓉共編 定價一圓五十錢 送料八錢
自修書 初等支那語講義 秩父固太郎著 定價一圓二十錢 送料十二錢
時文 初級支那時文講義 東京外國語學校教授 宮越健太郎・清水元助共著 定價一圓六十錢 送料十六錢
時文 高級支那時文講義 山口高等商業學校教授 鱒澤彰夫・江信光著 定價一圓二十錢 送料十二錢
參考 支那慣用語句例解 民生部編審官 三原增水著 定價一圓四十錢 送料十二錢
受驗 支那語難語句集解 臺北高等商業學校助教授 香坂順一著 定價一圓五十錢 送料十二錢
圖書目錄進呈
振替東京四五五二七 東京市神田區神保町 外語學院出版部

大東亞戰爭第一年の海軍戰史
大本營海軍報道部編纂
海軍戰記
大東亞戰爭と帝國海軍 第二輯＝
大本營海軍報道部の編纂せる輝く帝國海軍の大東亞戰史！千古に傳ふべき凄烈ソロモン海戰、南太平洋海戰まで全海戰の全記錄、開戰一年の決定版！
定價八十五錢 〒十二錢
大本營海軍報道部編纂（海軍戰記 第一輯）
大東亞戰爭と帝國海軍 價八十五錢 〒十二錢
大本營海軍報道部課長 海軍大佐 平出英夫（好評の二名著增刷出來）
作戰一万浬 價八十錢 〒十二錢
米英艦隊擊滅 價八十錢 〒十二錢
戰線文庫 十二月特大號 定價五十錢
圖書目錄贈呈
東京市麹町區內幸町二 富國別館 興亞日本社 振替東京六七六四一番

好評新刊書
大本營海軍報道部・監修
愈々發賣 (お待たせいたしました。賣切れの節は必ず書店へ御申込みを！)
珊瑚海海戰
第一輯ハワイ・マレー沖海戰(品切)第二輯スラバヤ・バタビヤ沖海戰(品切)に次ぐ大東亞海戰記の第三輯愈々發賣さる!! 茲に再び十二月八日を迎へるに當り珊瑚海上敵艦隊擊破の榮冠に輝くわが將兵の不屈の猛攻振りと殉國の精神を讀みとられよ!!
B6 一八二頁 寫眞 局地圖 二 美麗 保存本 價一圓 送十五錢
地熱 上田廣著 世紀の攻略戰に比類なき雄大な描寫小說 B6 三〇八頁 價一・八〇 送一五
海の扇 森山啓著 日本の土と美しく人の情の切なさを描いた文學 B6 二八二頁 價一・八〇 送一五
東京市麹町區內幸町 文藝春秋社 振替東京一七六〇三

社說　活かせ內地農村の體驗

一

本府派遣の朝鮮農青報國隊の一行は、一ヶ月に亘る熊本縣下における勤勞奉仕を終へ、聖地參拜の上、去る一日は東條首相の激勵の辭と幾多の感激をもつて六日朝歸還したが、半島青年が內地農村において大東亞戰爭下の銃後內地の家庭に起居し、秋の收穫期に勤勞奉仕をなすと共にその進んだ農法を習得、更に聖地參拜などにおいて日本精神の根源に些かなりとも觸れ得たことは、その物心兩面に於いて得たるもの大なるを感ずるのである。

二

皇國臣民たらんと只管自己鍊成に努力を續けてゐる半島今日の農村青年が、素朴にして純眞なる心を以つて質實なる內地農村に溶く入り、その家族の一員にも增した心からなる精神的徽行の中に內地農村の生活を體驗したといふことは、隊員にとつて如何に深い感銘を與へたことであらう。

三

六日歸還した隊員は交々その體驗を語るのであつた。『內地では老若男女皆勞務であるが、特に婦人の力が主になつてゐると思ひます。服裝も輕く全部がモンペ姿です』『私の配屬された家のお母さんは、毎朝必ず三時に起き、五時には皆と野良に出ます』と先づ內地婦人の勤勉を讃嘆してゐるが、それは一面その夫を、兄を、弟を、子供を戰線に送つてゐる農村の眞摯な姿とも言ひ得る。しかしもとく內地家庭においては、主婦が下女よりも早く起きて遲く寢るといふ習俗をもつてゐる處に、日本家庭の堅實なる家風の形成があることを見逃してはならない。わけても農家部に於ける主婦、その主婦の指揮の下に於ける子女の生活が隊員を感歎せしめたのであらうが、このことたる半島家庭の改善上とつてなすべき生きた資料である。

四

更に隊員はいふ『內地では朝飯の三倍も四倍も働いてゐます朝は四時から晩は十時まで』と、その徹底した勤勞精神の實踐に驚嘆してゐる。今日半島に於ても長い習慣のまゝ耕作、晝食後は大樹の下における晝寢といふやうな勞働姿態はないと思ふが、土を尊び、土と共に生き、土を働き拔くことを以つて信條とする內地農村の農士道といふが如き眞劍なる勤勞には未だ遠しと言はざるを得ない。隊員達はその目で見たであらうが、夕食後の農家における夜の作業の數々、內地農村においては、朝野良に出た時から夜は十時に寢床に就くまでの責任を背負ひ、すべてが心を以つて貫かれた農道の實踐である。

五

且つまた隊員がその目でその心で得て來たといふ。食事場に大東亞地圖が懸けてあつたこと、主人が食事時その子供達に戰爭の話などをなせること、子供の全部が貯金帳を持つてゐて毎月貯金を缺かさぬことなどの決戰下銃後農家の質實な生活の實體、その家庭が個々來た隊員のために、特に配された一尾の魚を尾頭付として食膳に上ぼせ勞はつたといふ親和な人情……それらの悉くが「內鮮一體」など標語だけのものではない、概念ではない、何よりも隊員達がその清純なる心意で學び得た處を以つて鄕里、鄕黨に生かし拔くことに對し、世人は半島農村の生活自體の中における眞摯の皇國的精神より他はない。今回の興亞報國青年隊における『農の神兵』として大いなる期待をかくるものである。

內田豫備大尉以下 二十三勇士に殊勳甲

海軍關係 大東亞戰論功行賞

【東京電話】畏き邊りでは大東亞戰爭勃發一周年の記念すべき日を明日に控へた七日大東亞戰爭死歿者海軍關係第二回論功行賞の御沙汰あらせられ、同日午前零時海軍省ならびに鎭守府より發表された、今回恩命に浴したものは今次開戰劈頭より本年五月中旬に至るまでの間に西太平洋の各方面に善謀勇戰散華せる將兵の一部で、そのうち內田正二海軍豫備大尉以下二十三名の勇士はその功績拔群なるを以て殊勳甲として顯揚せられた

內田大尉は艦爆隊長として比島方面の作戰に從事し敵の防備嚴重なる重要水路突破の任に當り敵彈雨飛のなかを數次にわたり勇敢に突入し、壯烈なる戰死を遂げたもので、また同じく殊勳の光榮に浴した山田飛行特務少尉、二瓶二等飛行兵曹はダバオ灣に哨戒中敵艦爆機隊の來襲を發見し、空中戰闘にはいはゆる下駄ばきの水上偵察機をもつて敵戰闘機これに突入し一機を擊墜し、他の一機に重大なる損傷を與へて擊退、よくその任務を果したるも、敵彈のため機上に壯烈なる戰死を遂げたものである、その他敵艦船兵航空兵力擊滅戰に不滅の偉勳を樹て護國の華と散つた勇士が殊勳者の大部分を占め、これらの殉職は主として比島空襲擊滅戰の途上散華したものである、すなはち開戰前米はその優勢なる航空兵力を比島方面に集中しわが本土空襲を呼號しをつたにかゝはらずわが海軍航空部隊蹶然起つや第一日（十二月八日）には擊墜二十五、擊破百十を、第二日（九日）には擊墜五十一、擊破五十三など開戰一週間にして擊墜破總數三百五十機に達し、早くもその大部分を潰滅し去り、本土空襲はおろか一衣帶水の台灣に對してすらなんらなすところなからしめたる赫々たる偉勳は、彼の眞珠灣の强襲、マレー沖海戰とともに今次戰爭の關鍵を決したるものといふべく、この輝かしきわが海軍航空部隊の戰果の陰には、これら幾多の尊き人柱あることを吾人は深く銘記し、ますく大東亞戰爭完勝に邁進を期しもつてこの大戰果に應へねばならぬ

海軍省公表（七日午前零時）本日海軍戰歿將士の一部に對し論功行賞の優渥なる御沙汰を拜したり、今回恩命に浴したるものは今次戰爭開戰劈頭より五月中旬に至るまでの間において西太平洋各方面に勇戰散華せる將兵の一部にして、海軍豫備大尉內田正二以下二十三名の殊勳甲として優賞せられたるものを含み、特に內田豫備大尉は豫備士官として初の殊勳甲の榮譽に與かりたるものなり

殊勳甲

功五 旭六 豫備大尉 內田正二 埼玉
功五 同 飛曹長 高橋信光 茨城
同 旭七 一飛曹 早坂幸雄 東京
同 同 一飛曹 鈴木金雄 秋田
同 同 二飛曹 大野義雄 茨城
同 同 二飛曹 二瓶要福 福島
功六 旭八 三飛曹 江藤信也 靜岡
同 同 同 佐藤勝美 青森
功五 旭六 飛曹長 有富正美 岡山
同 同 飛曹長 荒川信一 愛知
同 旭七 一飛曹 小島敏之 同
功六 同 三飛曹 大山英一 三重
同 旭八 同 緒原吉彥 山口
功五 旭六 飛特少尉 山田秀夫 福岡
同 旭七 飛曹長 毛塚時春 佐賀
同 同 飛曹長 松尾 實 福岡
同 旭六 飛曹長 玉井高一 愛媛
同 同 一飛曹 小島 保 長崎
同 旭七 二飛曹 倉富 博 福岡
同 同 同 堀 綱男 長崎
同 旭六 飛曹長 菊地利生 山形
同 旭七 同 山本四郎 京都
同 同 同 山田勝一 同

一般將校（佐官以上）

功四 旭二 少將 清水 護 茨城
同 同 中佐 川名彪雄 廣島
同 旭三 中佐 小川國一郎 福岡
同 同 中佐 宮田 艮 熊本
功五 旭五 少佐 原 誠 鳥取
功四 旭四 少佐 横井紡次郎 大分

英、ナポリ爆撃

【ローマ五日同盟】伊軍司令部は五日の公表をもつて聯合軍中の伊艦隊のあとを追つて來襲した英空軍が四日午後ナポリ市を爆擊、この爲め死者百五十九名と負傷者三百五十八名を生じた旨發表した

滿鐵輸送陣完璧

特産出廻り期を控へ 鐵道總局に貨物課長會議開く

【奉天特電】特産物出廻り最盛期を控へて下貨物の增送等重要物資輸送の最盛期を控へて滿鐵では四、五兩日鐵道總局において貨物課長會議を開催、總局から江崎營業局長等出席し、鐵道輸送の實績益々重大を加へつゝある新事態に對する諸問題につき懇談協議の結果、貨物輸送體制の擴充强化につき

一、決戰下貨物輸送に挺身すること
二、現場從業員の綱紀肅正を圖ること
三、構內の警戒を嚴にすること

等を決定し現場機關が一丸となつて當面の輸送難を克服、貨物增送に邁進することになつた、なほ全滿における特産出廻りは最近一日に二萬噸を越え前年より十三パーセントの增加を示してゐる

英、チュニジヤの敗戰認む

【リスボン五日同盟】ワシントン來電によれば米陸軍省も五日公報を以て聯合軍はタブルバ方面から一時撤退するの止むなきに至つた旨を發表し北阿戰況の不利を認めてゐるが、一方ロンドン電もまたチャーチルが北阿方面の戰鬪は日と共に熾烈の度を加へてをり、戰

週間世界の動き

消耗戰の相貌見ゆ

大陸の重要性を再認

南海に又も凱歌

三日大本營はルンガ沖夜戰の大戰果を發表した、八月七日の第一次ソロモン海戰以來これをもつてソロモン群島附近の大海戰は實に五回を數へることゝなり僅か三ケ月餘りの間にほとんど同一水域にかくも大規模な海戰が戰はれたことは、おそらく古今未曾有のことであらう、これについて大本營海軍報道部の田代中佐は二日午後のラジオ放送において『かくも大海戰が續いたことは如何にソロモン海戰が重大であるかを立證して餘りある、けだし、ソロモン海域は直ちに東京灣に續いてゐるので、この制海權を失ふことはとりも直さず東京灣の制海權を失ふことになる』と同海戰の最も深刻なる作戰的意義を指摘した、また東條首相は同日議會の演說において『米英を擊滅してしまはなければ濟まされない、この戰爭は決戰につぐに決戰をもつてする强烈なる消耗戰の連續となつてきてゐるのである、すなはち驚くほど海山の物を使ひ果す大きな作戰が次から次へと續いて起る大戰爭である』とこの大消耗戰的性格と生産戰の上からの重大意義を强調してゐるがこれらの認識にまつまでもなく、最近のソロモン水域の海戰の有する激烈且つ重要な意義を讀むべきであらう、即ち五回の海戰による五回の大戰果にのみ醉ふことなくわが方の損害もまた尠からざるものがあること、今後も更に敵の反擊が續いてあり得べきことに思ひを致して自戒しなければならない

大陸に目を注げ

四日支那派遣軍當局は大東亞戰一周年を迎へるに當り同方面一ケ年の綜合戰果に關する『聲明』を發表した、右の當局談の中で特に注目を要する點は『支那方面の解決なくして大東亞戰爭は有終の美はなく重慶政權の覆滅もまた不可缺の要素である、こゝに大東亞戰爭における支那戰線の地位は明確に規定されるのである』と强調してゐることである

大東亞戰以來とかく國民の注意は南方の戰果にひかされて、支那戰線を輕視するが如き傾きがあつたが大東亞戰の淵源が支那事變處理問題と直接關連し、支那事變の解決なくして大東亞戰の完遂もまたあり得ないことを考へると、支那戰線は對米英戰線に劣らぬ重要意義を有するものといふべきである、しかも重慶軍が米英と密接な連繫の下にビルマ奪回を狙つてゐる時に、米英空軍はまた支那大陸に基地を得て對日反擊を企圖しつゝあることは前週にも述べた通りである、この間北にあつては同戰線は戰に作戰上からも一段とその重要性を加へつゝあるといはねばならぬ、なほ派遣軍當局談によれば大東亞戰以來一ケ年間我が軍は支那において實に二萬五千回の交戰を重ね、百五十八萬三千の損害を敵に與へたのである、しかもなほ重慶は三百萬の野戰軍を擁してわれに對峙しつゝあるといふ、この機會にわれくは支那戰線の重要性につき反省を加へると共に今後更に同方面が敵反擊の主力の一つとなる可能性あることについて十分なる認識をもつべきであらう

米の謀略を粉碎

北阿作戰はその後大勢を左右する程の大きな動きを見せてゐないが、ただ時日の推移が漸次樞軸軍の反擊力を增加しつゝあることは前週にも述べた通りである、この間東部戰線に力を得た赤軍が東部戰線で、主としてスターリングラード、ルジエフ方面においてドイツ軍との間に猛烈な戰鬪を繼續中であるが、これも殆どいふに足る程の成果を收めてゐない、むしろ出た頭を叩かれて損害を增加する結果に終つてゐる模樣である、大規模な新作戰を展開したにも拘らず戰果的には左ほどの効果を擧げ得なかつた

米英側では最近特に狙ひを據へて專ら宣傳と謀略に力を注ぎ中立國の誘引、樞軸國の切崩しに大童の態である、トルコの戰線反樞軸的主張を行つたりトルコ側と米國との間に農業協定が締結された如きかゝる傾向の現れと見ることが出來る、また最近チャーチルがその放送演說においてイタリア國民に呼びかけ米英側のラジオがムソリーニ首相の罹病說などを放送してゐる、これなどは明かに同國の切崩しを狙ふ謀略なる說と見ることが出來るが、重病のはずのムソリーニ首相が二日ファシスト組合議會に元氣な姿を見せて『戰爭完遂の確乎たる決意』を述べたことは彼らの謀略的意圖を粉碎したばかりか逆に米英側の威信を失墜せしむるに足るものがあつた

佛は何處へ行く

最近の外電は米國と結ぶダルラン、英國と結ぶドゴールとの間に反目對立がますく激化しつゝあることを傳へてゐる、これは北阿において早くも米英が獲得した戰果に確執を起したことを物語るものとして興味深い、すなはち今回の北阿上陸作戰は主として米軍に負ふものであるところから米國はダルランを擁護としてアルゼリヤ、モロッコなどにおける自己の支配權を主張するのに對し英國はドゴールを表面に立て割込みを策しつゝあるのである、その激烈相剋が爭ひが激化して、直ちに米英陣營の分裂を豫想することはあり得ないがおそらく禍根を今後に殘すものとはならう

レユニオン島に對する英軍の侵略、象牙海岸に對する米軍の不法上陸等その後も米英は殘されたフランスの遺産の分割に夢中の態であるこれに對してビシー政府ではその內部結束の脆弱性の故に何ら有効な抵抗を行ひ得なかつたばかりでなくその最後的な防衛手段とされてゐたツーロンの艦隊まで失つたのである、しかしながら若しフランスが今回の悲劇によつて國內の異分子を清算し眞に新歐州建設に理解ある闘士のみを以て陣營出來るならばラバール首相の言明したやうに『寧ろフランス再興のため幸となる』だらう

米機搭乘員を捕虜

香港來襲の四名、我軍で取調べ

南支軍發表（十二月五日午後二時）去る十月廿五日米空軍の香港空襲に際し、わが航空部隊は果敢なる攻擊により敵爆擊機ノース・アメリカンB二十五型二機を擊墜、その搭乘員四名を捕虜とし目下取調べ中なり

【廣東五日同盟】去る十月廿五日香港を盲爆した米空軍はわが荒鷲の反擊を蒙つてたちまちノース・アメリカンB二十五型二機を擊墜されたが、その際米機の搭乘員四名は直ちにわが地上部隊に收容され嚴重取調べ中であるが、右につき南支軍より左の如く發表された

素晴しい日本軍

米捕虜驚嘆して語る

【廣東五日同盟】去る十月廿五日香港を盲爆した米機ノースアメリカンB二五型二機の搭乘員四名は現在○○に收容され、わが軍の嚴重な取調べをうけてゐるが、記者は五日收容所においてこれら捕虜と會見することを得た、捕虜は中尉一名、少尉一名、軍曹二名で、將校二名は大學卒業の學歷を有するが下士官はほとんど無敎育であり、彼らの思想も極めて幼稚、國家意識もまた稀薄であり、こゝにも世界の先進國と誇稱する敵國アメリカ將兵の無能ぶりが暴露されてゐる、現在彼らはわが軍の待遇に感謝してゐるが、以下彼らの心境を聞く

ハワード・シー・アラス中尉（二八、ミズリー州出身）私は結婚後六日目に米國を離れましたが行先は全く判らずこの時すでにすべてを諦めてゐた、あの日香港を爆擊に行くことも桂林に來て初めて判つた、多數の日本機と交戰中私の一機だけが取殘されてしまつたが、日本空軍の攻擊は確に素晴しい、このうへは一日も早く戰爭が濟めばよいと思ふだけである

航空士マーレイ・エル・ルイス少尉（二三、ミシシツピー州出身）私は實際運が惡かつた、支那に着いて直ぐに第一回の攻擊に向はせられたがそのまゝ捕虜にされてしまつた、日本軍は實に優遇してくれるし、士官もみな立派な敎育をうけた人々ばかりである、私自身日本に對する認識は零に等しく、このやうな無智が支那やアメリカ人を誤り世界の平和を亂したのでなからうかと考へてゐる

佛潛艦喪失發表

【リスボン五日同盟】パリ來電によれば佛國海軍當局は英米聯合軍の侵入に際し北阿防衛に參加中の佛潛水艦四隻は十一月九日以降消息なく喪失したものと信ぜられる旨發表したといはれる

軍一陣地を强襲、捕虜二千名、砲十四門を得た

一、カリーニン、イルメン湖南地區間でも赤軍は逆襲し來つたが獨軍は戰車百四台を擊破、飛行機六機を擊墜してこれを擊退した、またドン河戰線の獨軍は猛烈なる攻擊作戰の後赤軍陣地八十ケ所を占領、捕虜多數を得た

チュニジヤ戰線 一、チュニジヤでは兩軍の間に戰鬪が展開され樞軸軍は數日間の死鬪の後重要道路ならびに鐵道要衝各一ケ所を占領した聯合軍側の損害は重大である、樞軸空軍編隊はボーヌ港を猛擊し、樞軸空軍編隊は聯合軍輸送船一隻に大損害を與へその他數隻に火災を生ぜしめた

一、獨戰鬪機隊は聯合軍側飛行機廿三機を擊墜、チュニス港の獨高射砲隊もまた二機を擊墜した

赤軍戰車百九十二台擊破

【ベルリン五日同盟】獨軍司令部は五日午前特別公表をもつて東部戰線の獨軍が四日の戰鬪において赤軍の反攻を完膚なきまでに擊破し、敵戰車百九十二台の擊破といふ大戰果を擧げた旨發表した

赤軍の死傷十四萬

【ベルリン五日同盟】五日夜獨當地消息筋は過去三週間にわたるソ聯の冬季反攻における赤軍の損害につき左のごとく說明した

ソ聯が冬季反攻を開始して以來現在までの三週間に獨軍が敵に與へた損害は戰車二千、大砲數百門、その他戰車資材多數であるがまた赤軍の死傷者數はこれまでに發表された數字だけでも死者四萬五千、負傷者十萬三千に達してゐる

又も敵船團を潰亂

ビルマ陸鷲の活躍

【ラングーン六日同盟】さきに北部印緬國境テンスキヤ、オーランド兩飛行場を急襲猛擊を加へたわがビルマ陸軍航空部隊は敵がビルマ奪回を呼號しかつ東部印度における第二戰線結成を呼號して頻に印緬國境に兵力を集中してゐるとの情報を得たので敵の大部隊集中を待つて攻擊の機會を狙つてゐたが十二月五日敵の大船團が東南印度國境チツタゴン附近の海上に出動したとの報に接し機を失せず出動、これに完膚なきまでに猛爆を加へて敵の兵力集結の企圖を挫折せしめた、すなはちわが陸鷲は同日午後六時三十分戰爆連合の大編隊をもつて敵の大船團を急襲し必中の巨彈に誘導される約四十隻の輸送船に猛攻を加へ、わが荒鷲は小艦艇に必死の直擊必中の猛爆を加へて敵を全く潰亂狀態に陷らしめた、また戰鬪機隊は敵輸送船團を護衛して來たハリケーン戰鬪機數機と壯烈な空中戰を展開、一機を確實に擊墜して全機○○基地に歸還した、この第一次攻擊につづきわが航空部隊は目下なほ敵の殘存船團に對し反復猛擊を實施中である

地株株價指數騰貴

鮮銀調査部十一月はじめ鮮內要主株價指數（昭和十二年基準）は調査株數八十種中金融業、機械工業の低落を除き他はいづれも昂騰總平均指數において一二一、五ポイント前月に比し一、五パーセント方の騰貴となつた、內譯左の通り（單位％、▲印安）

業種別	十一月初め	前月比較
金融業	一五八、一	▲〇、四
運輸業	一二九、五	〇、八
鑛業	一〇〇、三	四、一
機械工業	一二一、五	▲一、二
金屬工業	四二、六	四、七
化學工業	一一三、二	〇、九
電氣業	一〇一、九	一、八
紡織業	一四三、一	一、〇
その他	一二四、九	一、〇
總平均	一二一、五	一、五

重荷を負擔せよ

ゲ獨宣傳相決意披瀝

【ベルリン五日同盟】ドイツ宣傳相ゲツベルス博士は四日夜シュポルト・パラストにおいてナチス黨員に對し現下の軍事的政治的情勢に關し次の如く演說した

國際情勢の變化

一九三九年ドイツ國民が西歐列强によつて第二次世界大戰を强制されたとき鋭敏な感覺を有する人ならばだれでもドイツは今や最大の試練に直面し、ドイツ國民がこれまで解決し得なかつたあらゆる死活的重要問題はこの時に解決されねばならぬことを直感したであらう、ドイツは自國國境のみでは外敵の侵入に對し防衛することは出來なかつたのである、もし誰かが一九三九年九月に『われくは一九四二年十二月にボルガ河のスターリングラード、北阿のチュニス、ビゼルタで戰はねばならぬ』と敎へてくれてゐたらわれくはそれほどの苦勞をせずにすんだであらう、なんとなれば當時われくはボルガ河を目標としてをらずライン河を目標としてをりビゼルタの爲に戰つてをらずサールブリユツケンの爲に戰つてゐたからである、このことが當時と今日の情勢の相違を示してゐる、一九三九年われくは極めて狹い制限された基地から東部に進駐した、東部の沃野と豐富な原料資源は今やわれくの將來の戰爭遂行に利便を與へてゐる、これらの資源を入手したといふことは決定的である、成功の陰には多少の不便が生ずるとしてもわれくは靜かにこれを克服するであらう

東部戰線の作戰

英國は戰線の擴大がわれくに大きな重荷となつてをりわれくはこの重荷をこれ以上支へることは出來ないと稱し、剰へわれくが實際に抱いたこともない軍事的目的を有してゐるとし、われくの戰略が失敗に終つたやうにみせようとしてゐる、われくは『時』から利益を得かつ今後の勝利を導くべき領域を確保してゐることを考へれば『時』はむしろわれくの敵ではなく味方である、ソ聯の冬季攻勢は現狀を決定的に變へることは出來ぬであらう、東部戰線においては最後の勝利を得るものは優秀な兵と鬪拔けた思考と卓拔な作戰である

將來への宣言

樞軸國は斷じて敵を勝手に振舞はしてはならぬ、彼らは一九一八年と同樣われくを欺瞞と混亂に導くであらう、もし一九一八年にドイツが國家社會主義の指導されてゐたらばドイツは崩壞せずむしろ勝利を得てゐたであらう、故にわれくが當時なすことを怠つたものに對し今日その補ひをつけねばならぬ、英國はすでに絕望的になつた情勢を隱蔽しようと試み首相チャーチルは米國を主人としようとしてゐるが彼の不正なトリツクは成功の見込がない

執拗の離間策

英國は樞軸の指導者と人民との間に楔を入れようと試みてゐる、最近英國宣傳機關はイタリーにこの手を用ひたがこれに對しムソリーニ首相は適當な解答を與へた、今や彼らは再びドイツにこの手を用ひようとしてゐる流說を發明し人工的にこれを擴大する彼らの遣り口に對しては否定したりすることは野暮なことだ

歐洲の强化工作

歐洲の强化工作は一刻も休むことは出來ない、われくによつて歐洲に與へられた秩序は有機的なものであると、もに强制せられたのではない、われくは歷史的現實と歷史的必然のために奉仕してゐるのである、今次戰爭においてドイツ國民は正義の爲に大きな犧牲を拂つてゐる、われくは戰線で生命を捧げた兵士に對し深い責任を感ずる

勝ち拔く決意

ヒトラー總統に對する信賴の念は今日ほど鞏固にして强靭なるものはない、われくは靜かに與へられた任務を遂行しなければならぬ、なんとなればわれわれは政策ならびに戰爭遂行に關する一切がわれくの雙肩にかかつてゐることを知るがゆゑである、戰爭の重荷をわれくは勇敢に負擔せねばならぬ、戰爭の苦痛はわれくの目標である新世界を實現せしめるであらう

定例閣議九日に繰下げ

【東京電話】八日の定例閣議は大東亞戰爭一周年の大詔奉戴日に當るので九日に繰下げ午前十時より首相官邸で開催する

隨想錄

天下の治道は人を得るより大なるは莫し其の人を得ざれば則ち勞して功無し其の人を得れば則ち垂拱して成るを仰ぐ▲なほ其れ四支の股肱腹心にして心思之を令するが如し夫れ萬機の繁き人君躬みて決せば則ち勵精以て繼ぐも亦遂に得べからず▲誠し人を得るの道は人を知るに在り人を知ること太だ難し之を知るに內其の細を主とし外其の言行を察して之を試ること之を久しうするに在り▲若し純ら知を必とし敢を貴び智を以てすれば則ち利口喋々として其の俗は輕俗險薄なり純ら德を必とし節を尙び行を以てすれば則ち沈默唯々として其の俗は闒茸遲鈍す奸佞の利に巧み至らざる所無し▲抑も臣使の道又勞からず親む時は則ち濟る、の失あり遠ざくる時は則ち暌ぐの過あり▲大臣の地を得る時は則ちその禮を盛にしその制を嚴にしてその位を重くし事に臨みて以て疑はず是れ大臣を敬するなり▲守令の任を得る時は則ちその禮を明にし監巡の察を正しその制を明にする時は則ち牧を以てするの道立つ▲夫れその人を得て而も用ひざれば則ち人才必ず屈すその人を用ひて而もその制を致さざれば則ち佞奸變を窺ひ讒者間を得るなり臣士の發揮使命の遂き事豈に偉ならずや（中朝事實）

胸に愛國 手に國債
大東亞戰爭一周年記念
十二月八日記念債券發賣
割增金付 好利廻
貯蓄報國
進物用包裝 無料奉仕
今秋田證券債券部
京城府明治町二 電話本局②五一五五

慢性の胃腸がメキく丈夫に！
食欲は進みグンく肥る

◇…私は忙しい身體なので少時間しか使用しませんが、非常に經過がよく、食欲は進み、殊に安眠出來る樣になつたせいか、腸の具合が良くなつたのには自分乍ら不思議に思つて居ります。胃腸が丈夫になるに從つて、いくら食事をとつても平氣になりその上に新しい精力が湧き、只今では慢性胃腸病時代の事も忘れて毎日愉快に働いて居ります。（二周隊、岸本正一氏より）寫眞は岸本正一氏

因に本器は全國の藥店で發賣中です（正價十二圓）

八ケ國專賣特許

新発売
濕布に

今般エキホス姉妹品として發賣したる本劑は專らその藥効竝に持續時間の永續に留意して製造せるものにして用法も至極簡便安全なる粉末濕布藥なり

包裝 一〇〇瓦 二五〇瓦 五〇〇瓦 三種

特徵
一、長時間有効なる事
一、使用法簡便にして非常に爽快なる事
一、皮膚炎を起す等の副作用なし
一、價格も低廉なり

主治効能
感冒、肺炎、肋膜炎
氣管支炎、扁桃腺炎
中耳炎、ロイマチス
神經痛、打撲痛、挫傷等

簡便・爽快・長時間有効
粉末エキホス

A-PE33.7S
エキホス姉妹品

積極的强壯劑
ビクラ

心身改善の推進力

從來の榮養强壯劑は第二次的なるに反し、ビクラは積極的に身體の衰弱狀態に活力を與へ各機能を根本から積極的に活動させる綜合作用をもつ理想的な强壯劑です。

ビクラにはアルギモン、燐、コツエキス、ストリヒノス、マンガン等の重要强壯素が科學的に配合され、是の成分が總合的に作用し非常に目覺しい治療効果を揮します

勤勞家、著作家、研究家、藝術家、學生、スポーツマン等精神的、肉體的の過勞家にとつてはビクラこそ健康保持の必要缺くべからざる强壯劑です。

（適應症）
心身の過勞・神經衰弱・精力減退・新陳代謝障碍・榮養不良・腺病質・病後及び手術後の恢復期

國內衆價
五〇錠 二圓五十錢
全國一流藥店・各デパートに販賣す

特約店
岡山市 株式會社林源十郎商店
（大阪）武田長兵衞商店
塩野義商會
高橋盛大堂
（東京）小西新兵衞商店
鳥居商店

補精の症
痔と化膿症に

カミツクス

商業登記公告

努力こそ完勝の道

銃後半島の赤誠進軍譜

"感激の日"前に板垣軍司令官談

【釜山にて藤本特派員發】開戰一年の感激に滿つる野を山を──板垣朝鮮軍司令官を乘せた特別列車が北へ驀走──慶南道民の赤誠の結晶、愛國機獻納式に臨席した將軍は六日午後一時廿五分釜山驛を發し慶北道愛國機獻納式に臨むのだ、展望車で讀書中の將軍を訪へば、例の謙譲な面持で徐ろに眼鏡を外し"海雲台や釜山の天ぷら"などの懇談に花が咲いた後、話題を轉へて"大東亞戰爭一周年を迎へたが"と急に向き直り『ハワイやマレーの戰果を始めこの一年間の戰捷は實に天佑神助といへる、この戰捷に醉うては神罰をうけるんだ、日本人は苦しめば苦しむほど大和魂を發揮し底力を出す、これは歷史の上にもよく出てゐるが、國體の精華と古い傳統によるのである、とはいへ戰爭は變化のあるものだから如何なることが起つてもこれに對應する努力が必要であり、その努力するところに必勝の信念が起るのである、天佑神助にお縋りしてゐるのぢや駄目だ、大いに努力し、その努力に徹底しなければならぬ』と必勝の信念も努力から起ることを敎へ、この際過去一年間に如何に努力したか反省せよと強調、續いて『時代に取殘されるな』と諭つた後徴兵制、義務敎育實施などの話に移り『愛國機の獻納式などを通つて見ると、半島の至誠はいや高まつてゐるのに感激してゐる、また昔は乞食が隨分多かつたといふが、これも近頃非常に少くなつたことは最近年齡勤勞に動員され、遊ぶ者が少くなり半島人が裕福になつたことを物語るものである、所謂"衣食足つて禮節を知る"ことになるのだね、大東亞戰爭が勃發してから警察事故も以前の三分の一に減少したと地方の警察部長が話してゐた』語る中にも熱の意志を仄めかした將軍は、獻納式に列した感懷をいとしむかのやうに大きくひとりうなづいてまた口を結んだ

愛國の鵬翼二八一機

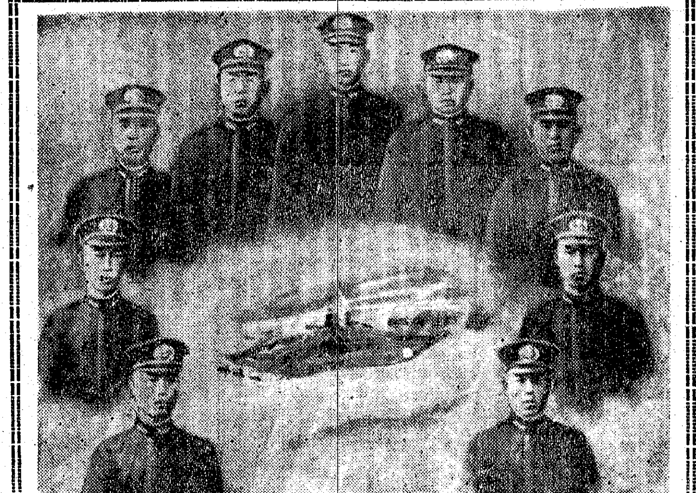
大東亞戰爭勃發以後の獻納數

大東亞全域に打ち樹てた皇軍赫々の戰果に沸りたつ半島二千四百萬民衆が大東亞戰開戰以來一ケ年間に皇軍に寄せた赤誠の凝集は夥しい額に上つてをり、戰ひに勝ち拔く烈々たる半島の決意を現示してゐる、すなはち開戰以來去る十一月末日までに朝鮮軍愛國部に寄せられた赤誠の獻金は國防獻金一千九百四十四萬五千百四十五円、恤兵金百二十一萬六千七十七円二十七錢、計二千六十六萬一千二百二十二円二十二錢の巨額に達してをり、さらに慰問袋獻納は二十六萬五千二百九十四個の多數に上つてゐるが、國防獻金のうち一千七百二十一萬六千三十五円七十七錢までは愛國機獻納費であり、これによつて二百八十一機の愛國機が半島から逞しく巣立つて米英擊滅の活躍を續けてゐるのである、これを支那事變期間中の國防獻金九百六十萬八千百七十二円十錢、恤兵金百四萬六千八百二十六円二十五錢、計一千六十五萬四千九百九十八円三十五錢に比較すると華々しい飛躍であり大東亞戰爭開戰以來一ケ年にして支那事變期間四年五ケ月間における獻金の約二倍の金額に達してをり大東亞戰の意義とその輝たる戰果に如何に半島民衆が感激してゐるかが窺へる、しかし月別の獻金額をみると六月を境に七月以降は漸次減少を辿つてをり十一月の如き最高二月の六百四十九萬円に對し僅か十一萬円に過ぎないので半島民衆はこの一周年記念日を機會にさらに新たな決意で愛國運動を開始しなければならない、一ケ年間の月別獻金額は次の通り

十六年十二月	[illegible]
十七年一月	[illegible]
同　二月	[illegible]
同　三月	[illegible]
同　四月	[illegible]
同　五月	[illegible]
同　六月	[illegible]
同　七月	[illegible]
同　八月	[illegible]
同　九月	[illegible]
同　十月	[illegible]
同　十一月	[illegible]
計	[illegible]

故富山上等兵町葬

中北支戰線で不朽の殊勲を打ち樹て大東亞建設の尊き礎石となつて戰病死した京城漢江通二ノ三二故陸軍上等兵富山光男氏の英靈を弔ふ漢江通一町會葬は六日午後二時から龍山國民學校講堂で執行された、委員長鹽田榮代挨拶ののち委員長、遺族、來賓一般の順でそれぞれ燒香あつて同三時半嚴肅裡に式をとぢた



九軍神の畫像海軍へ獻納

【東京電話】大東亞戰爭一周年の記念行事が全國に繰展げられた五日東京市澁谷區千駄ヶ谷の海軍館に征戰勇士の畫像大和魂の華と散つたハワイ眞珠灣特別攻擊隊九軍神の畫像が掲げられ折からの參觀者に一入感銘を與へた、之は大阪府豐中市の本間秀佑畫伯が感泣沐浴精魂を傾けて製作に當つたもので帝國海軍航空部隊の猛爆下に喘ぐあの日のフォード島の圖を囲んで岩佐中佐以下九軍神の烈々たる氣魄に燃ゆる像態が縱七尺五寸、横六尺の一幅の日本畫に再現され次代の海の勇士に呼びかけてゐる、同畫伯から海軍省に獻納され五日早朝海軍館に陳列された【寫眞】獻納された九軍神の畫像【寫眞】中央岩佐中佐右へ古野少佐、廣尾大尉、上田兵曹長、稻垣兵曹長、左へ横山少佐、横山特務少尉、佐々木特務少尉、片山兵曹長

學校生ひ立ちの記

登校時もまちく

郡長の命令で學童の狩集め

廿一年度から朝鮮にも愈よ義務敎育制度が實施される、半島同胞が全き皇民として堂々生長するの日が遂ひに來たのだ、先進內地が義務敎育を實施したのが明治十九年四月十日だつた、即ち小學令第三條をもつて"父母後見人等はその學令兒童をして普通敎育を得せしむるの義務あるものとす"と規定したことに始まる、然し當時はまだ四年制で六年制が確立されたのはそれより遙に遲れて明治四十年三月廿日だつた、民度の低さもあつたらうが當時の內地においてさへ學問の有難さ、敎育の義務を受ける悦びを知らなかつたといへる『お上が勝手に建てた學校に子供を出さねばならん法はない、そんな暇があつたら家の手傳ひでもさせた方がよほどマシだ』といふのが本音であつた、學校經營も訓導の授業ぶりも兒童の勉強ぶりも今から考へるとまことに微笑しい素朴さのうちにあつたのだ、ではそのころの學校と兒童とは一體どんな生態をもつてゐたか、小松崎京城中學敎諭と岩崎南大門國民學校長とにきいてみよう

【寫眞＝語る小松崎敎諭】

小松崎敎諭は學制頒布の翌年たる明治六年靜岡縣濱松の小學校を卒業同卅年長野師範學校出の視學として宮城縣黑川郡に赴任、授業料不徵收を原則として義務敎育の普及に躍起となつてゐた時代の敎育界に挺身して就學兒童の狩り出し通學兒を持つ親たちの意識啓導の訓練に當た人である

私が長野師範から視學として宮城縣の黑川郡に赴任したころだつたこゝは郡長と郡民とが全く君民の關係であり郡政はよく行屆いてゐたが義務敎育の實施についてはまだ〱といふ感じが深かつた

そこで私はまづ受學兒童の狩出しにかゝつたわけだが當時は義務敎育制が布かれた直後でもあり文部省が躍起となつて各府縣毎に受學兒童の就學率を競爭させてゐた時代であつた

當時の人々の間には義務敎育なるものに對しては"來るべきものが來た"と感じただけで別に感激もなかつた、それでも郡長が郡達に勸めれば郡民に"承知しました"とわけなく服從してゐた、だが困つたことは貧民の子女で、これに對しては敎材、補助費を郡費から出して農家の人手不足にはこの際やつてゐる勤勞奉仕に似たこともやつて、どうやらこの郡が受學兒童の率では全國一、二を爭ふほどの好成績を收めた

更に困つたことは、訓導の出勤時間が實にだらしのないことでそれにつられて兒童の登校時間も一定しなかつた、これを矯正するには軍隊敎練を訓導達にやらせたら……といふことになつて郡內の各校から一番若い訓導を仙台の陸軍幼年學校に送り當時の校長渡少佐の計らひで短期敎育を施してもらつた、それを通じて全訓導に軍敎を注入したので兒童も就學時間に登校するやうになつて大いに學校內の無規律狀態が改められた

そのうちに正則敎育をうけた若い訓導の數が追々增加して師範當時から寺小屋氣分で小學校訓導をやつてゐた"師匠"連は、しだいに影を消し基本敎育らしい姿が出來上つたのであつた

授業料三錢也

岩崎校長は公立小學校就學義務の確立された明治廿三年長野縣の小學校に入學、明治廿七年三月同校を"螢の光"の一聲に送られて卒業、翌四月一日高等小學に進み同校最初の高等科卒業生として草鞋履で開かれた第一號卒業館會を買つた人

『當時小學校は一村一校、高等科は一郡一校位の割だつた、何れも民家を改造した學校で私が入學した時は男女合せて廿五、六人ほどゐた、授業料は三錢それから間もなく五錢になつたと記憶してゐる

【寫眞＝語る岩崎校長】

何處の言葉かしらないが鉛筆のことをポツトロといつた、實に珍らしかつたもので先生しか持つてゐなかつた、生徒は石板を持つてゐるだけで學習帖など全然ない、だから授業中に全部覺えて了ふわけだ、とにかく敎へられたことは全部暗記してゐた

當時の讀本は"讀書入門"といふので第一はハト、ハナ、トリ、キリ、カンナ、ツキニクモ、マツニユキといふのに始まつてゐた、二年生以上になると程度が高くなつて全部文語體だ『今は何時なるぞ、一二三……十時なり』とか『こゝに梅と桃あり、君どの花を好むぞ』なんていふのを敎へてゐる『一鞭を携へて野外に出づ……歸りて階下にこの記をつくる』とかいつた綴方を書く程が困かつた

女子は男子よりも、就學率が惡いそれは女は、矢張り家の手傳ひをして便利だから親達が學校にやらなかつたわけだ、それで學校としては赤ン坊を背負つて登校しても良いといつて學校で子守りを許した、とにかく一年間に何時間か出て來れば修業證書を渡してやつたわけだ、それでも登校しない生徒が多いので晝休みに學校から饅頭や飴をやつたりした、時間を知らせるには太鼓か拍子木を叩く、生徒は前掛をして帽子もかぶらない

四年生くらゐになると先生が來て"お前一年生の所にいつて一時間ばかし敎へて來い"といふわけで先生の代役もやらされる

尋常科の敎科目は國語、算術、修身、書方、綴方、體操、唱歌だが私の學校にはオルガンがないので唱歌は高等科に入つてからやつた、國歌君が代を習つたのもその時だ、時代が時代だから先生は夫婦喧嘩の仲裁もやれば村のもめ事も治めるといつた指導者的存在だつた、生徒も大切にされて冬など敎室に炭火を焚いたり芋を燒いたりして食べさせて貰つたのを覺えてゐる、優等生には當時の金で一円ほどの賞品が贈られた、今から考へると大したものだと思ふ

とにかく昔の小學校といへばこんなものだつたが、昔と今とは違ふ朝鮮も田舍に行けば當時の內地と變らない民度かもしれないが、義務敎育なんて國家の事業だから子供さへ出しておけば良いのだらうなどといふ考へを捨て、子供を國のお役に立つやうに育てるのが親たちは持つべきである、國家の仕事だから──といふ考へを捨てることが大切なのだ

學童使節團

童心に感慨一しほ

古野軍神の靈前に額づく

【福岡にて渡邊特派員發】八日間に亘つて九州各縣に軍神の生家を歷訪して來た學童使節の一行は六日午前八時同日の宿舍を發つて最終日に入り同十一時ぬかるみを踏んで遠賀川のほとり軍神古野少佐の生家を訪れ靈前に額いた、迫りくる十二月八日を控へて軍神の靈前には早くも青年團、婦人會など附近市町村から參拜する團體、個人の跡音がひきもきらず、濛々が安置された八疊の間は縷々と香煙が立ちこめて感慨一しほ、兒童達は一年前眞珠灣に散つた軍神の靈がますく強く郷土の中に生き永らへつゝあるのを痛感した、終つて二時同家を辭去し、午後二時半發列車で下關に向ひ聯絡船で內地に別れを告げ七日午後二時廿分着の列車で一同歸城の豫定

八紘の基柱仰ぎ拜す

【宮崎縣宮崎にて渡邊特派員發】市の中央を流れる水清き大淀川の邊りの旅宿に一夜の夢を結んだ九州派遣使節の一行は五日朝宮崎神宮に詣でた、亭々たる古杉の間を十六町餘を北行し、八紘台に至る、二千六百年記念に日本の心のシンボルとして建設せられた八紘の基柱は高さ……太平洋を見下して今上百廿尺の高さに聳え立つてゐるのだ、殿堂を謹拜した再び外に立てば荒御魂を擁す上古の武人像は遙に見はるかす太平洋の怒濤を睨んでゐる、一行は先に拜した宮崎宮の"敵國降伏"の額面を聯想しまたいまゝでに歷訪した軍神の心を思ひ感慨無量のものがあつた

雄叫ぶ決意

專門學校生の放送

放送協會主催半島專門學校を一丸とした『大東亞戰下における學徒の決意發表會』は六日午前十時から京城、平壤、釜山の各放送局から全鮮に放送されたが、十六名の代表學生は交々起つて純忠至誠の氣魄を溢らせた堂々の論陣を張り前古未曾有の大戰爭に直面し學徒として處すべき誓ひ決意のほどを誇示し、同十一時半感激たる發表會を終つた、なほ當日の網現參者は次の通り決定した

第一席『歷史的學徒としての決意』城大豫科小森剛正、第二席『法學徒の決意』法專山下直之、第三席『水產日本を背負つて』高等水產沈錦道

愈よけふ

大東亞戰爭一周年記念

少國民決戰大會　七日午後一時　京城府民館

第一部▼挨拶　高橋本社出版局長▼講演　京城師團福永少佐、海軍武官府松本大佐▼皇軍感謝決議（大本營陸海軍部へ打電）

入場無料

第二部▼吹奏樂　京師吹奏樂團▼齊唱と吹奏樂　京師附屬第一、第二生徒▼お話　京師大石龍平▼戰爭漫畫合戰　岩本正二、神林久雄▼舞踊　吉木梓舞踊研究所員▼映畫　記錄映畫

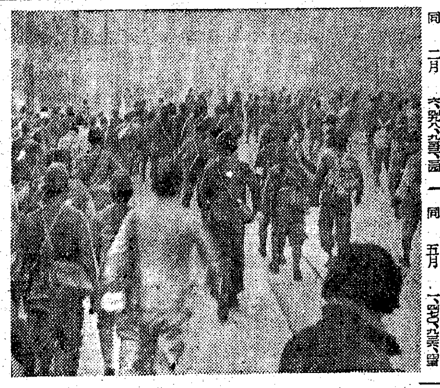
主催　京日小國民新聞

記念講演と映畫會　七日夜六時半　京城府民館

▼挨拶　高宮本社社長▼講演　京城師團江上守彥中佐▼映畫（イ）日本ニュース（ロ）空の神兵（ハ）マレー戰記

入場無料

主催　京城日報社　京城府　協贊　國民總力朝鮮聯盟　社團法人朝鮮映畫配給社



歩く！歩く！三千名！

六十七翁混る强步會

京城府が初の試み大詔奉戴一周年を記念する『府民鍛錬强步大會』は六日午前八時京城府廳前廣場を起點に擧行、少年、靑年、壯年、女子部四班に分れた三千名の會員は爽涼の朝霧を衝いて驛前集合、最低十三歲の少年群から京師、梨花高女、本町二兩山青年隊等隊旗をはためかして參加する中に六十七歲の府內永登浦町小川政吉さんの元氣な姿も見える、定刻國民儀禮についで古市京城府尹の挨拶、千田總務部長の詔書奉讀、大會役員注意の後高らかに萬歲三唱して出發モンペ姿のお孃さん部隊も交へて老いも若きも"あるけ、あるけ…"と足並も朗かに京仁街道をまつしぐらに行進、素砂日興產朝鮮工場前まで二三、五キロを五時間乃至八時間で見事に征服、午後四時半元氣な姿を龍山驛前で解散した【寫眞＝京城府民鍛錬大會】

大東亞戰爭一周年記念

あの感激を國債、債券へ！

大東亞戰爭國債　郵便局賣出　12月7日→18日

第六回戰時貯蓄報國債券　賣出　12月7日→1月7日

（大藏省）

勝拔く氣魄

郷軍龍山分會の銃劍道大會擧行

八日の大東亞戰一周年記念日を意義づけて更に第二年目を勝ちぬく旺盛なる氣魄と實戰即應の鍛成を勵める在郷軍人會龍山第三分會本年度銃劍道大會は六日午前九時から龍山公立國民學校々庭で兼鐵松野大佐はじめ會員約五百名參集のもとに郷軍魂を誇示して行はれた、先づ中島分會長挨拶ののち團體基本動作あつてそれより直ちに試合の火蓋を切つた、試合これ烈火の勝敗となつて紅白に分れた個人試合に十二組に分れた團體對抗試合に白熱的試合あり終始して最後に審判官の講評あり一同國歌合唱、會長の發聲で萬歲三唱、銃後の御奉公を固く誓つて意義深い大會の幕を閉ぢた【寫眞＝郷軍龍山第三分會銃劍道大會】

武德館創立記念武道大會

京城黃金町二丁目武德館道場（館長陳之內龍雄氏）創立卅周年記念武德祭並に武道大會は六日午後一時から同道場で井原京畿參與以下官民父兄約多數を迎へ擧行、市京城神社宮司の祭事についで陳之內館長挨拶、來賓代表井原京畿參與の祝辭の後少年部大日本帝國劍道形に始まり基本動作、劍之形、諸流居合、薙刀形あり少年部、青年部高段試合に裂帛の氣合も凛く銃後の意氣をみせ同五時終了した

ひとのみちアパート燒く

防火の襷ひを嘲つて六日午後二時廿分ごろ京城西部町一〇兩同住宅（通名人の道アパート）＝高村議一氏所有＝から出火、和洋折衷建物一階建一棟百廿坪を全燒同三時十分鎭火した、同共同住宅には現在相木留吉さんほか十三家族および發板店の工場もあり、京場の設備も燃く燒てから注意をうけてゐた

損害約三萬円、當出火の際外出中の〇〇部隊酒井曹次郎一等兵が消火に協力、感激された

話題特急

今次大戰勃發以來の非常な變化を見せてゐる南米各國の様相を次のやうに報じてゐる

☆……かつては世界各國の船舶が自由に出入して國際貿易の中心水域として有名であつた南米海岸に現在就航してゐる船はアルゼンチンの船だけになつてしまつた

☆……南米海岸の諸港には殆ど碇泊してゐる船はなく通路は閑散し、物資は不足してゐる、アルゼンチンでは燃料不足のため玉蜀黍を燃料に使用してゐるがそれは同國が生產過剩で惱んでゐる玉蜀黍が輸出不足で輸出が杜絶してしまつたためである、ところがコロンビアでは重要食料品の一つたる玉蜀黍が不足して弱つてゐるのも妙である【東京電話】

☆……最近ボゴタの新聞エル・チアンポ紙は南米航空路の米旅行に際し搭乘して此の程ボゴタに歸つた旅行者達の話を綜合して

鼻の惡い人は─必ず頭が惡い─

◎手輕に治したい方へ　無代進呈

鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、頭が重く記憶力が減退する人、物の香ひの判らぬ人、不眠症の人、物事に飽く物忘れの多い人……

（廣告）

結核　治療に迷ふ方へ

結核（肺病ろくまく腺炎カタル腸結核等）に惱む人々よ！貴下の病氣は……日々快方に向つて居るか？

贈呈

移轉御通知

弊社儀今般左記へ移轉仕り候間御通知申上候　敬具

昭和十七年十一月　日

記

移轉先　京城府明治町一丁目五十九番地

東洋棉花株式會社內

東洋製絲株式會社

全北製絲株式會社

電話本局（2）五一〇七番　四番

日本犬　他　軍用犬　犬專門の店

東京日本橋區本石町　日本畜犬

一度習へばメキ〱上達する

珠や指の動かし方から敎へる上達手引書

早く珠算の覺え方

四六版二百十頁　特價金壹圓也　送料十二錢

東京書院

エス球

東京・牛込　香松商店

お肌を養ふ液狀クリーム…

クラブホルモンフード

大阪・東京　株式會社中山太陽堂

工員緊急募集

清津職業紹介所

月やく

ニキビが取れて色白くなる

築爐ト保溫工事

無煙炭燃燒裝置

福壽商會

朝鮮稅務法規提要

朝鮮各道里程表

財團法人　朝鮮財務協會

咳にパラコミン液

名古屋共益社

訓練用の中古地下足袋

軍隊拂下茶利靴

神經痛・喘息に……

イマヅミン

悪虐非道、米潜水艦の暴擧

わが小漁船を盲襲

鬼神も哭く船長の最期

【東京電話】人道至上主義をぬけ〳〵と口にする米國の非道ぶりは本年四月の日本本土盲爆の際に行つた敵飛行士の鬼畜ぶりにもはつきり明示され一億國民の敵愾心をかき立ててゐるが、これはまた海上に秋刀魚漁に勤しむ無武裝のわが小船に與へた文字通りの殘虐非道の敵潜水艦の盲襲ぶりが五日海軍省から發表され一般の痛憤をかつてゐる、しかもこの盲襲において同漁船の船長の行動は鬼神を哭かしめるものがあり、船員魂の精華として讃へられてゐる、以下はその漁船〇〇丸（二六トン）乗組員が齎した報告である

昭和十七年〇月〇日〇時ごろ東方面に於て〇〇丸が約四、五百メートル前方に浮上せる潜水艦を發見、船橋で監視しつゝあつた船長は味方潜水艦なるか、敵潜水艦なるかを識別せんとした時、敵〇〇砲がその砲首とともに敵愾心の第一彈が放たれた『みな船底に引つ込め』船長は全員を叱咤して船底に避難せしめ、船上にはたゞ一人敵艦を凝視する船長の姿があつた『全速々々』船長の絶叫する號と同時に汽罐焚火の音と見る間に船は敵潜水艦に艦頭をはじめ船長は敵艦に空しく沈められるよりは刺しちがへに諸共太平洋に海の護りたらんと決意し、體當り捨身の構へに敵艦めがけて突撃する、一方救助を求めんとするが、第一砲彈で通信機は使用不能となり通信する術もない、敵艦はこの小船の周圍を旋回しながら機銃掃射を浴びせて來る、何回目かの機銃彈が船長の左腕を射ち、續く第二砲彈にあつといふ間もなく左腕をもぎとられ汽罐室に命中せる砲彈の火焰で汽罐を包み、赤く焦がす、この時船長はと見れば、幾らかの機銃彈の破片に右腕に重傷を負ひ、敵を睨みつゝ右腕に舵輪を握りしめたまゝ殉職、この有樣を見た某汽罐員は敢然船橋に登り重要書類をまとめてわが身諸共赤く映ゆる海中に身を投じた、このころ熾烈を極めた敵機銃掃射止むと見るや、小船にも敵艦は徐々に本船に迫り左舷前部に接觸、點火せる油ぼろを一箇船艙に投ず、忽ち船艙に山積された漁網に燃え移り炎々と燃えはじめる、本船が火達磨となるや敵艦は沈沒の望ひなしと見たか闇にまぎれて艦影を沒し去つた、ここに於て全員協力消火に努めるとともに、汽罐を修理のうへ〇〇港に向け悲憤の涙の中に鎮む船長の靈を抱いて戰場を去る、時に午前八時

見よ皇軍の進むところ、將士の奮鬪の手に斃れる小兒ありて、その激憤良民に嘆く及び皇軍の陣營等しく萬民に治くに反し、敵米の魂の動きを害げる非人道的行爲を憎むべし、打つべし、それにも増して五尺の身を一塊よく全員の楯となり、敵に直前し潔く殉職せし〇〇船長の勳たゝへよ、銃後一億國民は夕餉の鮮魚一尾にもかゝる船員の奮鬪のあるを知り食膳に向ひ、そのかげに斃れるかゝる船員の勞苦、かゝる敵の殘虐を想ひ最期必勝の信念で敵陣せよ

苦悩する太平洋の孤兒

盲目まで動員

濠洲、勞力不足に悩む

【ストックホルム五日同盟】太平洋の南端に過去一世紀にわたり英國植民地としての存在を誇けた濠洲も戰爭がその問題で行はれ本土が爆撃を受けるといふ史上空前の事態に直面した結果、英米の軍事基地として對外依存の傾向を強める一面、國内的には戰時體制の強化に伴ひ國民生活の根本的變革を餘儀なくされてゐる

温和な氣候に恵まれ廣大な土地に豊富な物資を擁し七百萬に足らぬ白人々口を養ひ殘りを英本國に貢げばよかつた濠洲も今日ではすべてを擧げて戰爭へ戰爭へと進まねばならないのだ、最近ストックホルムに達した諸情報によつて濠洲の一端を窺つてみよう

米國兵跋扈す

濠洲で最も目立つた變化はなんといつても米國兵の横行ぶりだ、マッカーサーの西南太平洋反樞軸聯合軍司令官就任以來此方面の濠洲戰は名實共に米軍の配下に入つたうへに英本國は濠洲を助けるに足る援助は出來ず、武器軍需品を專ら米國から購つてゐる關係上、濠洲に對する米國の發言權は益〻増大してゐる、政府首腦も事あるごとに米國にお世辭を並べカーチン首相なども最近西南太平洋の戰況に關し米軍の援助に感謝の意を表した電報をルーズベルトに送つたりしてゐる

濠洲のなかには未だにのんびりした植民地兵氣質が抜けきらぬものがあるのに比較し米國兵はともかくもはつきりした戰爭意識をもつて濠洲をひきずつて行かうとする傾向がみえる、しかし反面米國兵の横暴ぶりは眼に餘るものがあり、時に濠洲娘との間に如何はしい事件が多い、そのうち最も問題となつたのはさる七月エドワード・エロンスキーといふ二十四歳の米國兵が濠洲婦人三名を殺害した事件で米軍當局もさすがにこれには困惑して七月十七日軍法會議で死刑を宣告し、十一月に至り米軍首腦部會議もこれを承認したので同九日メルボルン刑務所で死刑が執行された

軍需生産状況

かくの如く國土の防備を米軍の援助に仰ぐ一方濠洲自體もとにかく國内戰時體制の強化に努力を傾つてゐるのは事實だ、しかしながら濠洲には近代的軍需工業がいまだ十分發達しておらず更に人口が僅少であるので非常な悩みである、軍需工業の勞働者數は戰爭勃發當時の五十四萬から現在では七十萬と三割方増加しさらに今後も多數の勞働力増強を要するので濠洲政府は平和産業を極端に犠牲に供するとともに最近十六歳から三十歳までの女子徴用計畫を進めたり小賣業から四萬人を轉業させたり盲人を軍需工業に使用したり懸命に大童である

軍需生産の状況については正確な情報はないがボーファイターの飛行機生産豫定高は一千機といはれさらにこのほか戰車、戰車砲ならびに砲彈などの國内生産も開始され驅逐艦級の建造は一ケ月當り四隻に達したと傳へられるがいづれも確報ではない

戰時節儉公債

濠洲政府は十一月四日から總額一億ポンドの戰時節儉公債を賣出しカーチン首相はじめ各閣僚總出で全國を遊説し、濠洲國民が日常生活を一層戰時化し公債を買つて前線の將兵に對する義務を盡せと呼びかけた、公債募集開始に當りカーチン署名の手紙百五十萬通が全國各戸宛發送されたが現在までのところ一般國民の應募成績はおもはしくないといはれる

社會生活變る

戰時體制の進行は社會生活のすべての分野に變化を生じてゐる、アデライドでは小賣業整理の結果二千四百の商店が閉鎖され、ブリスベーンには女の郵便配達が現れてゐる、濠洲名物の競馬と犬競馬も回數を減少され特に平日の競馬は原則禁止となつた

さらに鐵道が軍需輸送で手一杯のため本年は各學校の學生に對しクリスマス休暇の歸省を禁じ羊毛の國濠洲にもすでに衣料切符制が實施され、化粧品、剃刀など家庭用品は入手が困難となり煙草も不足でビールや酒類の生産も三分の一だけ減少してゐる、果物類も一般に勞力不足で減産をみせてゐる

防空強化運動　九日から三日間

【東京電話】大東亞戰爭一周年に當つてますく防空を強化し國土防衛の完璧を期するため内務省防空局では十二月九日から十一日まで三日間全國に防空強化運動を展開、自衛防空陣の強化完實、防空監視、燈火管制、防毒の訓練など防空設備の整備などの諸行事を行ひ、大東亞戰二年の防空必勝態勢を固めることとなつた

標準漢字表　其の三

【水部】水氷永汁求氾汚汝江池沙汲決汽沃沈沐沒沖沙河沸油治沼泊況泉泊泌法泡波泣泥注泰泳洋洗洞津洪洲洵活洽派流浩浪浮浴海浸消涉涯液涼淑淘淚深淳淨淺淸淡減渡湖港渴湯溫測源準溝滅滋滑滯滿漁漂漆漏演漠漢潔潛潤潮澤激濁濃濕濟（濟）濱瀨瀕灣
【火部】火灯灰炎炊炎炭炮烈烏焦無焰然煙煎煮煤照煩燒燃燈營燥燭爆
【爪部】爪爭爲爵
【父部】父
【爻部】爽
【片部】片版牌牒
【牙部】牙
【牛部】牛牝牡牢牧物牲特牽犧
【犬部】犬犯狀狂狗狐狙狩狸狹狼猛猪猶猿獄獎獨（獨）獲獸獻
【玄部】玄率
【玉部】玉王玩珍珠班現球理琴琵
【瓜部】瓜
【瓦部】瓦瓶甌瓶
【甘部】甘甚
【生部】生産甥
【用部】用
【田部】田由甲申男町界畏畑畔留畜畝畠畢略番畫（畫）異當疊疉
【疋部】疋疎疏疑
【疒部】疫疲疹疾病症痛痕痢痴癖療癒
【癶部】發（發）
【白部】白百的皆皇
【皮部】皮
【皿部】皿盆盈益盛盜盟監盡盤
【目部】目盲直相盾省眉看眞眠眷眺眼衆睡督瞬瞳
【矛部】矛
【矢部】矢矣知矩短矯
【石部】石砂砥砲破研硝硫硬碍碁碑碧確碩磨磯礎

永遠の女（41）

牧洋作　岩本正二繪

永遠の女（三）

大學病院の一室。

窓外の櫻は、ほころびかけて、らんまんの春をよんでゐた。

しかし、小百合は顏面蒼白、やせおとろへて見るかげもなくなつてゐた。たゞ目のみは昔と變らず美しく、異樣に澄んで、うつろに天井をみつめてゐた。時々、灰色に色褪めた唇が動いて、何かを訴へようとするかの樣に見えたが、のどがつまつて、聲とならなかつた。枕頭に腰かけてゐた愛子（愛國）が、耳を小百合の唇に近づけたが、さつぱり意味がとほらなかつた。

『お母さん……』

『郎太……』

この二つの言葉だけは、どうやら聞き得た。日増しに、小百合は容態がいよいよ惡化して、がくりとなる時があつた。或る日の午後、愛子も急報に接して、かけつけた。農夫雄夫妻もきた。かゝりの醫者をよんで、みて貰つた。

『もう助かる見込がありません』

醫者は廊下に出て、農夫雄や殿らに宣告した。

その時、石井軍三があたふたとかけ込んで來た。軍三は息をはずませて

『先生、小百合さんは如何ですか』

と言ひながら近寄つた。

『もう駄目です』

『何とかちよつとの間でも生氣づけて下さいませんか。是非一目でも會はせたい人が來たんです』

その時、江川郎太が廊下に入つて來た。醫者は、江川にちらつと一瞥をなげ、病室に戻つた。そして、小百合に、最後の注射を一本やつた。江川は、小百合の病床に近寄つた。軍三も、殿も、愛子も農夫雄夫妻もみな小百合の病床をとりまいた。

『小百合さん、郎太が歸つてきました』

小百合は、郎太をみつめてゐたが、微かに笑ひ、右手を蒲くさしのべた。まつ白い、ほつそりした手だつた。江川は小百合の手を、兩手の間に擁つた。

『小百合さん、お詫びします。……しつかりして下さい』

江川の頬に、涙が流れた。愛子や農夫雄はすすりあげた。軍三はハンケチを目にあてた。殿は指先で、そつと涙を拭つた。

小百合が唇をもぐもぐしたので江川が顏を近づけた。

『子供、た、ち、を…た…の…み…ま…す』

かなりはつきりと言ひ終ると、小百合は息を引取つた。江川に手を握られて、安心したやうに眼をつぶつた。

東京からの、小百合の母は、死際に間に合はなかつた。翌日、葬儀に附され、張家部の墓地に埋められた。平壤から牧山兄弟もかけつけてゐた。葬式には明星學園の兒童等も、みんな參列した。

死の最後の瞬間まで、子供たちを愛しつゞけた小百合の位牌は、明星學園の中に、寶藏と共に安置された。そして小百合の精神は、子供たちの魂の中に、永遠に生かされるであらう。

江川は、小百合の立つてゐた教壇に立つてみた。そして、運動場も歩いてみた。軍三も思ひに沈んで、江川の後について歩いた。

（小百合の遺志をついで、もつと大きくこの事業を推進めて行かう。小百合こそ永遠にわが胸の中に宿つてゐるのだ）

江川は、ざんげし、新たに奮ひ立つた。そして、小百合の美しい魂の宿る京城を、心の故郷として、軍三と共にこの事業に協力することを決心した。

江川と軍三は、聖蹟の坂道を歎々と下りた。まばらに立つた櫻並木から、櫻の花びらが、ひとひらふたひら、音もなく散つた（終）

ラジオ　7日

朝 ▲七・〇〇１『米英擊滅の道』海軍大將高橋三吉２愛國詩（錄音）▲八・〇〇今日のお知らせ▲八・二〇（解語）同▲九・〇〇『日本婦人の聲援』山高しげり▲九・三〇（解語）『新な職域の生活を致しませう』日婦朝鮮本部理事洪承嬉▲一〇・〇〇イサマシイオンガク大阪放送管絃樂團▲一一・〇〇一年生の時間、お話と音樂ニッポンバンザイ松平正巳、東京コドモ唱歌隊

晝 〇・三〇吹奏樂、行進曲『大東亞戰爭の歌』ほか星櫻吹奏樂團▲一・〇〇（城）大東亞戰爭一周年記念少國民決戰大會—府民館より中繼—１挨拶 高橋京日出版局長２お話 陸軍少佐福永一慶、海軍大佐松本一郎３齊唱『少國民の歌』ほか京城師範附屬國民學校兒童京城師範吹奏樂團▲二・〇〇１國民學校放送『學校新聞』益田豊彦２（城）同▲二・三〇朗讀（解語）『珊瑚海々戰從軍記』伊東▲四・〇〇教師の時間は休み▲四・三〇國史講座（解語）『聖將東郷元帥』琴川京畿高女校長

夜 六・〇〇１シンブン２音樂〃日本のあしをと〃大阪子供唱歌隊、大阪放送合唱團、大阪放送管絃樂團▲六・二〇『前世界大戰と今次世界大戰との比較』尾崎緯南師團長▲七・三〇總力回覽板〃十二月の巻〃坂本奥知雄構成▲八・〇〇１話２大行進曲發表會—神田共立講堂より中繼▲九・〇〇（解語）１歌曲〃東亞の春〃松本孃ほか２物語〃布哇の勝利〃牧山白水▲九・四五初步國語講座

ラジオ科學　十二月號　三十錢
放送　十二月號　四十錢
大東亞戰爭一周年記念特輯　詩精神と日常生活
東京市芝區田村町　ラジオ科學社

博士創製の毛生え藥　フミナイン　毛ははえる藥
東京市芝田村町電車通り　發賣元 東京藥院

京城 都藥房洲藥
世に誇る獨特秘藥　急性慢性を問はず如何なる惡性の淋疾でもたつた四五日内服にてしかも何等副作用なく完治の目的を達せられる
京城驛前　合資會社 都藥房

月やく　とゞこうりお困りの方や御心配の人に　中尾本家

武田産婦人科病院　武田産婆學講習所　武田正房

旅館　長期滯在專門

東寶映畫情緒大作　おもかげの街　萩原遼演出　長谷川一夫　入江たか子　山根壽子　競演　九日封切　明治座　若草劇場
しつとりとした情緒！ぴつたりいきのあつた競演！涙の吐息に包まれた幽艶の絶對境！

松竹映畫青春大作　愛國の花　佐野周二　木暮實千代　三村秀子　若水絹子　佐々木啓祐演出
純愛に華とひらく青春繪卷　悲戀の傷手に涙せず戰ひの庭に捧げた乙女心の愛の花
九日紅系封切　京城寶塚劇場　京城劇場

第參期貸借對照表　昭和十七年十一月七日　興亞學童被服株式會社
衣笠産婦人科　醫學博士 衣笠茂　電本5912
第參期決算公告　朝鮮アルミニウム工業株式會社
李鍾鎬外科　李鍾鎬
貸借對照表　朝鮮セメント株式會社
第七期決算公告　三同鑛業株式會社
ぜんそく
花柳病專門　恒松醫院
敬告ニ告グ　春枝疲勞ノ爲メ危篤ニ急ギ歸レ　濟南、兄勝一
京日案内
タイピスト募集　朝鮮タイヤ工業株式會社
日本窒素支社
事務員　交換手
白井友之助商店
乳母至急入用
おたふくわた朝鮮支店
社宅留守居婦
女子計算
給仕募集

不動産競賣公告

京城地方法院

[illegible]

若劇	ニュース　空を守る少年兵　東洋の凱歌
喜樂舘	日本ニュース　文化映畫　新雪
黄金座	日本ニュース　アメリカ太平洋基地　ホームグラフ　デサント　眞珠灣奇襲
京城寶塚劇場	國語　春香傳
朝日座	清水の爆笑　漫才隊
明治座	日本ニュース　空を守る少年兵　大東亞戰史　東洋の凱歌
新富座	ニュース　軍用兎　水滸傳
桃花劇場	曲藝團　沈清傳
浪花舘	ニュース　文化映畫　獨眼龍政宗
大陸劇場	日本ニュース　空の教室　新雪
京劇	日本ニュース　ハワイ・マレー沖海戰
城寶	ニュース　ハワイ・マレー沖海戰
和信映畫舘	日本ニュース　ジャワと豆の木　都市と文化　戰ふ軍樂隊
青春座	愛妻記
東洋劇場	ニュース　ビルマ戰記　昨日消えた男
城南劇場	日本ニュース　山岳　ビルマ戰記
中央劇場	